

Ⅱ. 4. 大阪大学言語文化学会・大阪大学言語社会学会

○言語文化学会活動

2020 年度春季 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

2020（令和2）年10月29日～11月1日 大阪大学言語文化学会第56回大会

（2020年度秋季 大阪大学言語社会学会・言語文化学会合同研究発表会）

<研究発表>（ ）内は所属の学会

服部拓哉（言文）“Intonative Features of Young French Speakers: Studied Using Utterance Testing”

林桂生（言文）「発達障害は狂気か—フーコー『狂気の歴史』を含む種々の狂気に関する著作に寄せて—」

井上健太郎（言社）「相対的安定期におけるシュトレゼマンの外交戦略と限界—「地経学」的観点からの考察—」

黒田宗篤（言文）「宮地再来による「少名彦那神」観—道教受容の観点から—」

LEE JOONGCHAN（言文）“Nationalism or Assimilation: The Ambivalence toward Japanization in Yang Sok-il's *Blood and Bones*”

呉恵卿、金明熙（言文）「感謝場面における韓国人大学生の言語使用—応答ストラテジーを中心に—」

大津真実（言社）「ドイツにおける移民の職業教育」

銭蕾（言文）「ヤオイ愛好者と男性俳優の相互作用：『X-MEN』Beginning films シリーズの宣伝活動を例に」

上田直輝（言文）「標準（高地）ドイツ語知識に基づく低地ドイツ語理解：非母語話者を被験者とするケーススタディ」

徐勤（言文）「日本人中国語学習者の作文から見る接続詞の使用実態—出現頻度を中心に—」

周氷竹（言文）「複数のマイノリティ性を持つ者のアイデンティティ形成—統合失調症当事者 M の語りから—」

<総会>

1. 2020 年度役員・委員

【役員】会長：伊勢芳夫、副会長：宮本陽一、監事：小口一郎、北井聡子

【教員委員】委員長：田中智行、副委員長：高橋克欣、会計委員：大神雄一郎

企画・編集委員: 越智正男(前期:学会誌担当)、大神雄一郎(事務局担当)、
北井聡子(後期:秋季大会担当)、山田彬堯(後期:秋季大会担当)、
リー シーチェン ナンシー(書記担当)、瀧田恵美(学会誌担当)、
中村綾乃(前期:学会誌担当)、津田保夫(学会誌担当)

【院生委員】岩佐薫、王珊、高田直哉、陳倩、中野晃希

2. 2019 年度活動報告
3. 2019 年度会計報告
4. 2020 年度予算案
5. 2020 年度活動
6. 会員数
7. その他

2021(令和3)年3月31日『言語文化学』第30巻発行

<査読者>

伊勢芳夫、今尾康裕、植田晃次、大谷晋也、小川敦、小門典夫、小杉世、佐藤彰、
里内克巳、霜鳥慶邦、難波康治、西口光一、秦かおり、日野信行、三浦あゆみ、
宮崎麻子、村上スミス・アンドリュウ、山本武史、山本佳樹、義永美央子、我田広之、
渡辺貴規子

○『言語文化学』第30巻(2021)目次

論 文

- ・中国語母語日本語学習成功者の学習行動
—アンケート調査とフォローアップ調査から—..... 陳 奕霖
- ・ Laughter That Reveals Participants' Consciousness:
A Case Study on Narratives about COVID-19..... Mugiho KOJIMA
- ・芸能バラエティ番組における文字テロップの日韓比較
—目的と機能による使用頻度を中心に—..... 呉 恵卿
- ・中国のヤオイ愛好者におけるイギリスのイメージ
—「腐国」と呼ばれるイギリス—..... 錢 蕾

○言語社会学会活動

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止